

P143c 「あかり」データアーカイブプロジェクトの現状(9)

山村一誠 (ISAS/JAXA)、「あかり」チーム

われわれ「あかり」チームは、赤外線天文衛星「あかり」の取得した貴重なデータが天文学研究に有効に活用されるよう、衛星運用終了後も引き続きデータ処理・解析・アーカイブ活動を行っている。あらかじめ処理・校正を施したデータプロダクトを作成公開することにより、観測装置や衛星に関する詳細な知識が無いユーザーでも、必要なデータを検索・閲覧し、ただちに科学的解析に取りかかることが可能になり、「あかり」データのより広い天文学研究への利用が促進される。

予稿執筆時点で、「遠赤外線微光天体カタログ」、「中間赤外線全天イメージマップ」、「遠赤外線スロースキャン観測データ」、「中間赤外線スロースキャンデータ」、「遠赤外線 FTS 分光データ」が公開に向けた準備中である。また、スリットレス分光観測データからの分光カタログ、点源カタログの作成も進行している（本年会山岸他、水木他）。ポスターではこれらのデータの内容、公開状況、利用状況を紹介し、「あかり」データの科学研究への効果的な利用方法について議論する。

我々は、「あかり」データの科学的価値を高めるため、データに興味を持つ研究者の、データ作成・評価・アーカイブ活動への協力を歓迎する。また、独自の視点で大規模な系統的解析を行ったユーザーが作成したデータ、公開データから作成した二次プロダクトのアーカイブ支援も行っている。興味のある方は iris_help@ir.isas.jaxa.jp まで遠慮無くお問い合わせいただければ幸いです。